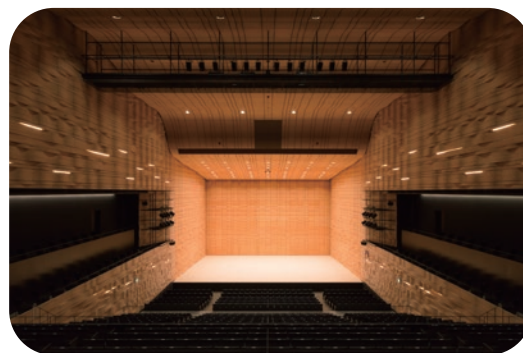


TETTO COLUMN ～館長のつぶやき～

「ホール A はコンピューターの響き？」 2021/8 「RE:TETTO」 No.44

今回はホール A の「響き」についてお話しします。ホールに入った瞬間に感じることは何ですか？と尋ねると「木の香りがする」「波打った壁や天井が印象的」などの感想をいただくことが多いですね。この木（杉の集成材）と波打った形状に「響き」の秘密があります。音響設計は、かの有名なサントリーホール（東京都）を設計した永田音響設計さんが担当し、コンピュータープログラムを用いて「すべての客席に優劣なく同質の音が降り注ぐ」ように設計されているのです。壁や天井の一つ一つの波型は単なるデザインではなく、良い音、良い響きをご来場の皆様にお届けするためのもので、全てのかたちに意味があるのです。手前味噌ではありますが、TETTO は東北（いや全国）屈指の響きの良いホールだと私は思っています。8 月はフルオーケストラやヴァイオリンコンサートで最高の響きをお楽しみください！



「未来の利用者のために」 2021/9 「RE:TETTO」 No.45

TETTO では児童・生徒さんの社会科見学を積極的に受け入れています。今年度も市内外の2校の生徒さんに来ていただきました。見学学習を通じ、ホールに親しみを持っていただき、そして「未来」の利用者（来場者）になってもらいたい、というのがその目的であり私の切なる願いでもあります。普段は入ることができない場所の探検や、実際に備品を動かす体験、ホールのいろいろな仕掛けを見ていただくなど、TETTO がいつまでも印象に残るように心掛けてご案内をしております。また、ホール客席の好きな場所に座っていただき、館長演奏コーナー（クラリネットやオーボエ）を「おまけ」として聴いていただくのもホールの響きを生で感じていただくための恒例としております。これからも、より親しみやすく気軽に立ち寄っていただけるようなホールを目指してスタッフ一同運営をまいります。



「小さな芸術の秋」 2021/10 「RE:TETTO」 No.46

新型コロナウイルスのまん延により、TETTO もこの1年半、自主事業イベントやさまざまな貸館（お客様の施設利用）が数多く中止やキャンセルとなってしまいました。現在もウィズ・コロナ（コロナと共に活動をしていく）とはなかなかいきませんが、それでも TETTO は通常の時間で開館しています！利用制限は多少ありますが、新しいホールですので新型コロナへのしっかりとした対策をすれば、市民の芸術活動は普通に行うことができます。さまざまな練習やサークル活動などに利用いただけるのはもとより、ミニコンサートやミニギャラリーなど、背伸びをしない「小さな芸術の秋」の発表の場を私たちホールスタッフと共に作っていきませんか。さまざまなご相談にも対応いたしますので、ご興味のある方は是非一度 TETTO へ足をお運びください。



art at TETTO vol.1 澤田麟太郎

「利用者アンケート」 2021/11 「RE:TETTO」 No.47

新型コロナ感染症もだいぶ落ち着き、今年の「芸術の秋」は、緩やかではありますが TETTO でも様々な催事やイベントが行われております。さて RE:TETTO の読者のみなさんは、ホールロビーの丸テーブルに白い箱がいくつか置かれているのをご存じでしょうか？その箱の正体は「利用者アンケート回収箱」というものです。私たちホール職員は、皆様に喜ばれる施設を目指し日々仕事をしておりますが、直接接してご意見をお伺いする場というのは思ったほど多くはありません。そこで、お越しの際に自由にお書きいただけるアンケート用紙を用意しております。もちろん全てのご要望にお答えすることはできませんが、私たちが気づくことができない貴重な宝物が発見されることもあるのです！ホールにお立ち寄りの際には利用者アンケートへのご記入、宜しくお願いいたします。

